



【手から手へ】 marugo-toブロックの価値



marugo-to(まるごと)は、誰でも利用でき、自分の好きなように過ごしていただく自由な場所

継続活動

「農作業—植えつけ(冬菜・ほうれん草)」



畝づくり(ほうれん草)



植えつけ(冬菜)

新たに「冬菜」と「ほうれん草」の植え付けを行うために、畝づくりからスタート。

鍬を上手く使いこなしながら、きれいに畝を整えていく姿に、男性シニアの方たちの経験力の高さが表れていた。

「冬菜」と「ほうれん草」がどんな風に育つのか楽しみである。

継続活動

「農作業—収穫(葱)」



周りの土を掘るところから



立派な葱



土をおとして新聞紙に包む

隣の農家の方にも助言をいただきながら収穫。

土から抜くのではなく、周りの土をまずは崩して、優しく手に取るのがポイント。

継続活動

「木工作業—marugo-toブロックづくり」



新しい道具！テーブル型丸のこ



サンドペーパーで磨いていく



焼印を押していく



完成



切れ味抜群で断面がキレイ

編集後記

marugo-toブロックは完成する(商品として販売)までに、本当に多くの人の手を介している。そしてそれは、marugo-toに来ているメンバーだけでなく、学校や病院、地域の茶の間まで多様な関わりを生み出している。

ブロック完成までの物語に、参加の幅(余白)があることがmarugo-toブロックというコトの価値の一つかもしれない。

